

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	養老町	学校名	養老町立養老小学校		
校長名	森島恵照	対象学年	3～6年	人数	329人
活動名	ようろうタイム ふるさと学習	時間数	3・4年生各60時間 5・6年生各56時間	継続年数	23年
題材	① 自然環境 (山野・河川)・動物・植物・その他) [養老の滝・菊水泉・養老山・金草川] ② 歴史 (出来事・史跡) 先人・その他) [養老行幸・養老改元・六社神社] ③ 文化 (芸能) 芸術・民話・風習・その他) [孝子伝説・養老音頭・ひょうたんブギ] ④ 地場産業 (農業・水産業・伝統工芸・その他) [ひょうたん飾り・和菓子店] ・高田祭] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [高齢者福祉施設訪問・交流] ⑥ その他 (音楽劇表現活動・かるた遊び) [オペレッタ養老物語・養老かるた]				
複数年継続 するための 工夫改善	・4年間の総合的な学習(ようろうタイム)を通して、ふるさとの宝物【名人・名品、滝(水)、山(森林)、親孝行の心(福祉)】を広く深く学ぶカリキュラムを作成している。 ・年度末には上学年が下学年に1年間で学んだことを伝える場を設けている。6年生のオペレッタは卒業公演として全校・保護者・地域の方に発表・発信している。 ・新たな講師照会や教材提供を求め、県の「森時と水の環境教育支援事業」「清流の国ぎふ環境学習推進事業」を活用した。 ・次年度より町として推進する「ふるさと養老学習」の一部先行実践にも取り組んだ。				
<p>1 ねらい 地域の人・自然・文化にかかわっていく学習を通して、自分やふるさとのことをよく知り、伝え合うことができる。</p> <p>2 活動の概要 3年 <u>養老町のひみつ発見</u>「養老町のひみつ・名人・特産物を見つけよう」 ・高田祭、無病息災の瓢箪飾りや和菓子店等を見学し、伝統芸能、熟練の技や特産品のすばらしさにふれ、ふるさと自慢を新聞作品にまとめる。 4年 <u>滝が教えてくれること</u>「養老町の滝をめぐる不思議を調べよう」 ・身近な滝や川を調べて水の大切さを知り、すみよい町づくりのために自分ができることを考え実行する。 5年 <u>養老山探検隊</u>「養老山の自然を見つけ調べよう」「環境を守る大切さを伝えよう」 ・養老山の様子を観察したり森や樹木に詳しい方から話を聞いたりして森林の役割を知り、環境保全について考えたことを発信する。 6年 <u>お年寄りを大切にす町 養老</u>「お年寄りとおふれあおう」「オペレッタ『養老物語』を創ろう」 ・お年寄りとの交流や疑似体験を通して高齢者福祉について自分とのかかわりから考え、共に生きる社会の実現への努力、親孝行の町養老で生きていく決意をオペレッタに表現する。</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子 ・ふるさと名人の方に実演を見せてもらい、熟練の技や地域の特産品に関心を高めていた。 ・養老音頭保存会の方に踊りを指導してもらい、親子で練習して運動会で披露した。 ・身近な養老山や校内の樹木、森と人とのかかわりについて具体的な観察や説明を通して、森林保全について問題意識を高め、木に親しみ活用することの大切さを発信していく。 ・高齢者福祉施設を訪問し、お年寄りとおふれあって共に楽しめる活動を準備し交流した。 ・4年間のようろうタイムで学んだことを創作音楽劇「オペレッタ養老物語」に表現することにより、お世話になった地域の方やお年寄りにふるさと養老への愛着と感謝の思いを発信していく。 ・28年4月、「オペレッタ養老物語」は町民が後世に残したいと考える養老町の財産として「まちの宝もの46選」に認定され、「養老かるた」にも採用された。校区を越え町全体でふるさとの宝と認められた。</p> <p>4 活動を通しての児童生徒の変容 ・学年を経るごとにふるさとのよさを学び続ける中で、ふるさとへの愛着や誇りを深めている。2017年に養老改元1300年を迎えるにあたり、町の取組と連動して、ふるさとへの関心・思いが高まっている。 ・6年生の卒業公演「オペレッタ養老物語」は本校でのふるさと学習の集大成として定着しており、出演する児童も参観する保護者・地域の方も毎年楽しみにしている。</p>					